



News Release

2024年10月31日
NITE (ナイト)
独立行政法人製品評価技術基盤機構
北陸支所

暖房、点検、ヨシ！ ～5つの点検で火災を未然に防ぎましょう～ (北陸3県版)

1. 事故の発生状況

2019年から2023年までの5年間にNITEに通知された製品事故情報^{※1}のうち、北陸3県（富山県、石川県及び福井県）における暖房器具^{※2}の事故が18件^{※3}あり、そのうち、「電気暖房器具（電気ストーブ・電気ファンヒーター）^{※4}」の事故が5件、「石油暖房器具（石油ストーブ・石油ファンヒーター）」の事故が13件でした。

(※1)：消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含みます。

(※2)：石油ストーブ・石油ファンヒーター、電気ストーブ・電気ファンヒーター

(※3)：重複、対象外情報を除いた事故発生件数

(※4)：電気暖房器具にはハロゲンヒーター、セラミックヒーターを含みます。

表1 県別年別発生件数（2019～2023年）

事故発生年	富山県	石川県	福井県	合計	
2019年	1	1	1	3	
2020年	1	3	0	4	
2021年	1	1	0	2	
2022年	1	4	0	5	
2023年	1	3	0	4	
合計	事故件数	5	12	1	18
	うち火災件数	[5]	[10]	[1]	[12]

表2 県別被害状況別発生件数 (2019~2023年)

被害状況 ^{※5}		富山県	石川県	福井県	合計
人的被害	死亡	0	1	0	1
	重傷	0	0	0	0
	軽傷	2	0	0	2
物的被害	拡大被害 ^{※6}	3	9	1	14
	製品破損	0	2	0	1
被害なし・不明		0	0	0	0
合計		5	12	1	18

(※5) 物的被害があった場合でも人的被害のあったものは、人的被害に区分しています。また、人的被害(死亡・重傷・軽傷)が複数同時に発生している場合は、最も重篤な分類で事故件数をカウントし、重複カウントはしていません。

(※6) 製品本体のみの被害(製品破損)にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としてしています。

2. 製品事故事例

(1) ガソリンの誤給油(石油ファンヒーター)

・2019年4月(富山県、60歳代、男性、拡大被害)

【事故の内容】

使用中の石油ファンヒーターから出火し、周辺を焼損した。

【事故の原因】

被害者が事故品にガソリンを誤給油したため、異常燃焼を起こし、火災に至ったものと推定される。なお、取扱説明書及びカートリッジタンクには、「ガソリン使用禁止。」旨、記載されている。

(2) 内部配線の断線(電気ストーブ)

・2022年12月(石川県、50歳代、女性、製品破損)

【事故の内容】

ネット通販で購入した電気ストーブを使用中、電源プラグ付近から火が出た。

【事故の原因】

電源プラグのコードプロテクター根元付近に過度な応力が繰り返し加わったため、芯線が断線し、スパークが生じて焼損したものと推定される。なお、取扱説明書には、「電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、電源プラグを持って引き抜く。電源コードは無理に曲げて使用しない。」旨、記載されている。

(本件に関する問い合わせ先)

〒920-0024 石川県金沢市西念3-4-1

独立行政法人製品評価技術基盤機構

北陸支所 担当者 吉田、塚谷

電話：076-231-0435

以上